

「法令遵守」の視点から考える就業管理

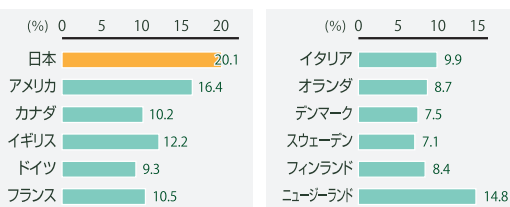
今年4月、70年ぶりに大改革された労働基準法。従来 就業管理は、特定の部署が取りまとめて総括する業務でしたが、働き方改革が浸透して常識は変わろうとしています。社員が自分で勤務状況を把握し、自己管理することを求められる社会において WEB システムの果たす役割を考えます。

労働基準法改正

注意したい「残業」「有休」の取り扱い

ここ数年で一気に加速していく「働き方改革」。日本は、世界的に見ても長時間労働者の割合が高い（逆説的に労働生産性は低い）ことも後押しして、国は改革に本腰を入れています（図1）。

図1：国別 長時間労働者の割合



労働政策研究・研修機構「長時間労働の割合（就業者）」2016年

本年4月1日には、労働基準法が改正されました。大企業はもちろん中小企業でも、就業環境の見直しを行い、順次法令に適應することが義務付けられています。

今改正の中でも、特に残業規制と有休消化義務については注意が必要です。例えば、就業規則に残業の取り決めが無い企業や、非正規労働者に有休を与えないとしている企業もまだ多く見られます。このような場合、たとえ労使間で「曖昧なままでもよし」と暗黙のうちに了解されていたとしても、今後は「法に抵触する」と判断される可能性があります。法改正のポイントを良く確認の上、対応していただく必要があります（右下表）。

WEB申請は「あたりまえ」に。「自分で就業管理」の新潮流

かつて就業管理システムは、実務担当者の負担を軽減する目的で導入されてきました。しかし最近では、社員の、自己管理による長時間労働の抑止を通じた「法令を遵守するためのツール」としての側面が、重要視されるようになってきました。

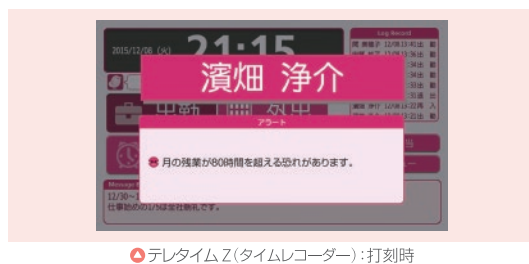
当社の例ですと、従来は総務部を中心に、就業管理ソフト「クロノス Performance」とタイムレコーダーのみを選択されるお客さまが大半でした。

ところが現在は、WEB申請・承認クラウドサービス「X'sion(クロッシオン)」についても、クロノス Performance 新規導入のお客さまのうち約半数が一緒にご導入いただいています。

X'sion をご利用いただくことにより、各部署の範疇で申請・承認を素早く完結できるようになります。データはシステム上で集計され、各自が残業時間の累計や有休残日数を簡単に把握できます。

上司は部下の申請状況や出退勤情報について日々数値として認識できるので、残業過多や働きすぎの部下に目を配り、ブレーキをかけてあげられるようになります。また、システムが近未来の労働時間を予測して、しきい値を上回った社員に直接アラートを表示する機能も備えており「労働状況を客観的に自覚できるようになった」として好評をいただいております（図2）。

図2：アラートで「働きすぎ」をお知らせ



テレタイムZ(タイムレコーダー): 打刻時

グループウェアとしての活用も！ 必要に応じてサービスを追加できる

WEB を通じた就業管理ソリューションをご検討いただくと、次にご相談が多いのは社員への情報伝達ツールのご導入です。X'sion はグループウェアオプションを用意しており、ご要望に応じてご採

表：労働基準法改正のポイント（日付は施行日）

概要	大企業	中小企業
残業規制	2019年4月	2020年4月
● 時間外労働の上限を、原則月 45 時間まで（超過は年 6 回まで）、年 360 時間とする。		
● 時間外労働は年 720 時間以内、単月 100 時間未満、2～6ヶ月平均 80 時間を限度とする。		
有休消化	2019年4月	2019年4月
● 年 10 日以上有休付与者は、毎年、時季を指定して年 5 日の取得を義務とする。		
高プロ制度	2019年4月	2019年4月
● 特定高度専門業務従事者について、労働時間や休日、割増賃金等に関する規定の適用を除外する。		
フレックス	2019年4月	2019年4月
● フレックスタイム制の清算期間の上限を 1 ヶ月から 3 ヶ月に延長する。		
割増し賃金	—	2023年4月
● 中小企業において、月 60 時間を超える時間外労働に係る割増賃金率を 50% 以上とする。		

用いただけます。

グループウェアオプションには、「スケジュール」「設備予約」「回覧板」「フォーラム」「アンケート」の各機能が含まれ、タイムカードや申請・承認など他の機能と連携して動作します。例えば有休や出張の申請がスケジュールにも自動で反映され、社員に余計な手間をかけさせずに、自然に情報を共有できます。

X'sion は「グループウェアを検討しているが、まだ踏み出していなかった」というお客さまはもちろん、他社のグループウェアを既にご利用中のお客さまでも、就業管理との一本化で業務と費用の効率化が期待できます。このように、あらゆるお客さまにご検討いただいているサービスです。

クロノス社は、就業管理システムを通して企業の業務効率化を追求してまいりました。それゆえ、お客さまの業務内容や勤務形態、ニーズにあわせて、柔軟にご提案できるオプションを豊富に揃えております。この機会に、皆さまの業務改善のお役に立てれば幸いです。

X'sion 活用事例

先月、台風 15 号の影響で関東地方で大規模な交通障害が発生しました。クロノス社では、前日に交通障害の案内を一斉配信。当日は運行状況を確認の上、各々が「在席ポート」に出勤可能な時刻を入力するようにしました。こうして各員の出勤予定時刻を全員が一覧共有。お互いをサポートし、お客さまに対応することができました。クラウドサービスの X'sion は、災害時でも情報リソースとして大活躍しました。

人の働くところに、いつでも。就業管理はクロノス